

## 第2回 清瀬市新校開設に向けた基本構想及び基本計画策定委員会

### 次 第

日時：2023年2月7日（火）15時～（16時30分）

場所：清瀬市役所4階 研修室

1. 委員の紹介（前回欠席委員）
2. 前回の議事確認 … 事務局
3. 議題
  - (1) 教職員アンケート結果報告
  - (2) 第1回清瀬市の新しい学校施設づくりワークショップ報告
  - (3) 現在の施設環境について
  - (4) グループワーク：新しい学校施設づくりの目標
  - (5) 参考事例の紹介（視察候補）
5. 情報共有
  - ・特別講演会の youtube 公開
  - ・第2回市民ワークショップの開催について
6. 次回の日程調整
  - 後日別途調整し通知します。

#### □資料

資料1：第1回清瀬市新校開設に向けた基本構想及び基本計画策定委員会議事録案

資料2：清瀬小学校教職員アンケート結果概要

資料3・4：ワークショップのまとめ

資料5：新しい学校施設づくりの目標 グループワークの進め方

資料6：参考事例の紹介（視察候補）

資料7：特別講演会 youtube 公開案内

資料8：第2回市民ワークショップ案内

参考資料1：現在の施設環境（周辺環境）

参考資料2：現在の施設環境（校内）

### 調査概要

アンケートの目的：清瀬市立新小学校の基本構想・基本計画の策定にあたり、新しい学校施設は隣接する清瀬中学校と小中連携/一貫教育が行いやすい施設とすることや将来、清瀬第八小学校との統合校舎となることが予定されている中で、清瀬小学校の全教職員から校舎整備の意見を抽出することを目的にアンケート調査を実施した。現校舎の課題や整備方針等を把握・検討するための基礎資料とする。

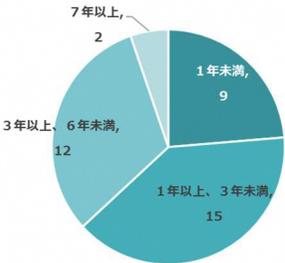
回答期間：2023年1月11日（水）～1月27日（金）

調査対象：清瀬小学校全教職員（42名） 回答数：38名（回答率：90%）

### 回答者の属性等

役職	管理職	1	専科教員	3
	学級担任	21	事務職	1
	特別支援担当	10	養護教諭	2

清瀬小学校在校年数



教職員経験年数



### I. 新しい学校施設づくりの課題について、特に関心がある項目について選択（3つまで選択可）



### II. 設問 I の選択理由

#### 【教職員の働きやすさ・職員室】

- ・気持ちよく働ける職場で、教育がしたい
- ・これまで経験した他校と比べると、働き辛いと感じることがある

#### 【居心地・使い勝手】

- ・すべての人が過ごしやすい環境が重要だからだと思うから
- ・生活の基盤を安定させることが児童の安心した学習の基礎となると考える
- ・居心地の良さは大切である。児童も積極的に登校したいと思えるのではないかと考える
- ・施設の心地よさが子供も大人にとっても大切だと考える
- ・児童一人一人が学校へ行き、学びたいと思える環境を整える
- ・児童、教員が使い勝手よく、スムーズに使える施設、設備があるとよい

#### 【維持管理のしやすさ】

- ・維持管理のしやすさは大切である
- ・壊れかけている機械などを使いまわしにしないで、新しい機械を購入してほしい
- ・備品や消耗品が慢性的に不足しており、財源をしっかりと確保してほしい

#### 【学習の場】

- ・誰にとっても学びやすい環境に変化させていくことが大切だと考える
- ・様々な学習形態に対して、スペースや設備の問題で実施できないようなことが多い
- ・教職員や児童が必要な時に、必要なものを、自分が望む場所で学ぶ機会を提供したい

#### 【ICT環境】

- ・ICT設備の充実、どこでも操作でき、壁がホワイトボードで想像力を働かせることができる環境

#### 【小中学校の9年間の学び】

- ・9年間の成長を見通した、学校を期待している
- ・9年間を見通した食育活動に関心があるため、地域（農家、市役所養蜂等）と連携した食育も実施したい

#### 【木材を活用した学校づくり】

- ・子どもたちが居心地がよいと思える、木の温かみがある学校に惹かれた
- ・自然豊かな清瀬の学校としてふさわしいと思う

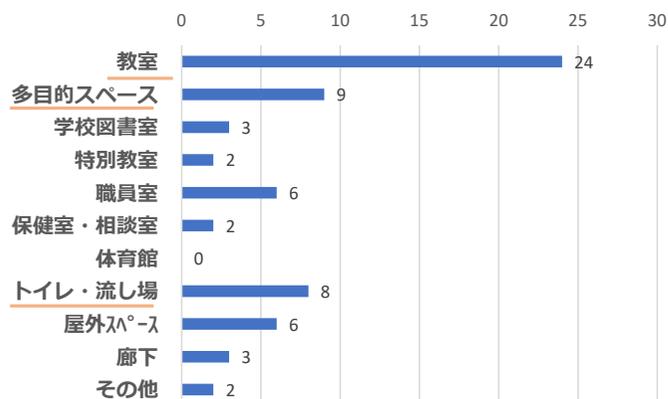
#### 【安全性】

- ・死角がなく、広く見渡せるような大人の目が届きやすい校舎だとより良い
- ・教職員、児童、保護者、学校関係者、地域の方が安心安全に生活できる学校が良い
- ・校舎が古く、快適とは言い難い。老朽化により危険を感じることもさらある

#### 【地球環境への配慮】

- ・環境問題への配慮が必要

Ⅲ. 次に示す室・スペースについてご意見があれば選択)



既存校舎の写真



Ⅳ. 設問Ⅲの選択理由

【教室・教室まわり】

- ・開かれた教室
- ・閉鎖的な空間のため、可能な範囲でオープンスペース化したほうがよい
- ・落ち着いて学習できるように、オープンスペースが極力少ない校舎
- ・教室や廊下にフリースペースを設け、雑談やグループ活動をできる場がほしい
- ・教室は特に安全であるべき
- ・コロナ対応でソーシャルディスタンスが確保できない広さ。また窓を開けて換気するため、夏は暑く、冬は寒いことが課題である
- ・教室は定員いっぱいの児童が在籍しても、ゆとりのある広さがあるとよい
- ・教室のドアにカギと小窓を付けた方がよい
- ・廊下に給食ワゴンスペースがなく、通ると他の人がすれ違うことができない

【収納】

- ・たくさんの荷物を収納できるロッカーやフックの充実を希望する
- ・現状はロッカーが狭いため、児童が自分の荷物を置くことが困難である
- ・物を置くスペースをとってほしい

【ICT環境】

- ・電子黒板などのICT設備が各教室にほしい
- ・すべてホワイトボードか電子黒板が使える環境がよい。
- ・テレビを各教室に1台、暗幕等の環境整備もされているとよい

【多目的スペース・集会場所】

- ・現在教室がほぼで空いている教室がなく、教室以外に活用できる部屋やスペースがない
- ・体育館以外に学年単位で集まれる場所が必要（できれば各階にほしい）
- ・100人程度が座って鑑賞できるシアターがあるとよい。（階段の活用）
- ・異学年交流ができるようなスペースがあるとよい
- ・学年集会や生活科などで使える部屋がほしい

【トイレ・水回り】

- ・洋式トイレの数を増やしてほしい（児童の多くが、和式に慣れていないため）
- ・トイレと流し場は広さと清潔さを長年に維持できるようにしたい

【職員室】

- ・教員数の実態と物理的なスペースがミスマッチなので、ゆとりのある職員室がよい

【図書室】

- ・蔵書の多い図書室がよい。子どもたちの読書活動を充実させたい
- ・子供の人数に対して、十分な本がおける広さ、子どもが読書をするときにゆとりをもって座れる場、畳などのおけるスペースがあるとよい

【居心地】

- ・児童生徒、教職員が居心地がいいと感じる環境を作ってほしい
- ・子どもが気持ちよく生活できるように常にきれいに保てるような造り

【校庭】

- ・児童数が増えることが予想されるので、なるべく広さが確保できるとよい

【屋上】

- ・太陽光パネル設置だけでなく、屋上菜園・人工芝グラウンド・テラス等があるとよい

【設備等】

- ・十分な広さが確保され、配線などがむき出しではない空間になるとよい
- ・冬は手を洗うのが辛いので、温かいお湯が出ると嬉しい
- ・保健室にシャワー室がほしい

【動線】

- ・校舎の行き来に時間がかかるため、校舎間の2階同士など通路があるとよい

## V 現在の施設環境で、良いところがあれば、その場所と理由

### 【歴史】

- ・歴史を感じる佇まい
- ・造りが丁寧で、昔の方の技術の高さが感じられる

### 【立地・周辺環境】

- ・市役所に近く連携がしやすい
- ・中学校との距離が近く連携がしやすい
- ・自然が多い
- ・緑が多いこと
- ・中庭に畑があるなど植物が多く生息できる環境があること

### 【採光】

- ・日差しが当たる

### 【トイレ】

- ・トイレの水洗がボタン式で使いやすい

### 【空調・換気】

- ・体育館に冷暖房があること
- ・換気しやすい

## VI その他、新校の施設整備についての意見

### 【校舎・スペース】

- ・三小のような廊下スペースがあると、活動や指導ができる
- ・校舎の中に光が差し込む明るい校舎にしてほしい
- ・口の字型で中庭があるような校舎 日当たりが悪いところは多目的スペースや資料室用の場所で、中庭が楽しいスペースだと更によい
- ・渡り廊下は集会スペースに使える広さがあり、ちょっとしたベンチがなどもあるとよい
- ・1階の教室には1年生用に教室から校庭に出入りでき、水道や飼育栽培スペースが近くにあるとよい
- ・死角のない構造

### 【ユニバーサルデザイン】

- ・誰にとっても使いやすい施設になればと思う

### 【保健室】

- ・保健室にシャワー室をつけてもらえると、嘔吐した児童やおもらした児童の対応がしやすくなる

### 【給食調理室】

- ・食数に適した給食室面積、器具、機械の設置
- ・アレルギー食を配膳するスペースの確保を希望

### 【仕様・設備等】

- ・各教室の戸を閉めた時、廊下から中の様子がわかる戸にしたい
- ・特別教室以外の教室は鍵がかからないようにし、施錠するためには外（廊下）から施錠できるような仕組みにしておく。児童や生徒が触れないようにしておける場所がほしい
- ・LEDの電灯、廊下は人感センサー付きがマスト

### 【校庭・屋外施設】

- ・プールをなくすのであれば、その分校庭を広く確保したい
- ・可能であれば体育倉庫や飼育小屋の立て直しを検討したい

### 【外観】

- ・バス通りや市役所通りから校舎がよく見えるロケーションにあるため、効果的に見せることも視野に入れたい

### 【期待】

- ・これからの社会に合わせた、清瀬、都のモデルとなる学校がこの場所につくられることがとても楽しみ

### 【事業について】

- ・地域の図書館などが併設した複合施設になるのか

### 【そのほか】

- ・十分な環境を整えてほしい

## ワークショップの概要

日時：2023年1月21日（土）10:00~12:00

会場：清瀬市役所 研修室1・2・3

テーマ：「新しい学校施設の夢を語り合おう」

内容：当日は29名の参加があり、新しい学校施設はどんな場所になるとよい？どんな学びの場・生活の場を子どもたちに用意したい？地域住民にとっての学校施設はどんな場所？先生方が働きやすい学校施設とは？この場所だからこそ、できること、目指したいことはある？等の視点から各グループで新しい学校施設の夢を語り合い、その内容をグループの代表者が発表し、考えを共有しました。

各グループの主な意見をまとめました。

### チーム ハッチ



- ・異学年交流ができる場所があると他学年への橋渡しができる
- ・地域と学校がつながる架け橋として、地域にオープンな施設がよい
- ・幼保連携が図りやすい、大学生も入れるような施設
- ・放課後児童クラブや学童の充実
- ・全天候型の校庭があるとよい。暑くて体育ができない等もあり、安全保障としても必要。雨天時の遊び場がない点も課題
- ・現在、分棟であり、コの字型の校舎で校庭を囲めるとよい
- ・図書電子化
- ・地域の名産を作る、ハチを育てられる（養蜂）など、それらの産物をいかせる取り組みや施設・設備を望む
- ・クラブの外部指導や小中連携等によって、教員の負担減を目指せるとよい
- ・環境教育として太陽光や残飯を肥料にできる設備などの設置

**異学年交流や保護者、地域と架け橋になる学校**

### チーム 自然



- ・清瀬市の長は自然が豊かであること。それをいかし、農園・畑があり、植物を育てられる学校にしたい
- ・ICTがどこでも使える環境がほしい。現在、屋外は使えない
- ・校門や通学路である歩道の安全性の確保が必要
- ・広い校庭がほしい。思いっきり遊びたい
- ・立地をいかした小中連携や交流があるとよい
- ・地域開放をするには教員の負担がない仕組みが必要
- ・職員室の空間や先生方の時間にゆとりが必要、職員の楽しさが子どもの楽しさにつながる
- ・施設面は、明るい学校、十分な収納、四方が一望できる屋上があるとよい
- ・現状トイレや流しの個数が少なく、休み時間は混んでいて使いにくいので、改善が必要

**自然の豊かさをいかした学校**

### チーム ゆとり



**ゆとりがある学校**

- ・校舎は開放的で、わかりやすい・まとまりのある校舎がよい
- ・収納が充実するとよい
- ・先生方のゆとりが学べる時間を生み、交流の場や交流できる時間があるとよい
- ・子どものゆとりは持ち物の工夫（ランドセルが重い）が必要、遊びの場として校庭にゆとりがあるとよい
- ・図書室には大人も読むような様々な本があることで、地域開放や子どもの興味関心で選ぶ幅が広がるとよい。
- ・未就学児も遊べる場所があるとよい
- ・避難場所としての役割や機能の充実
- ・正門の位置はけやき通りに面していたほうがよい

### チーム 清瀬



**明るく、きれいな学校**

- ・明るく、きれいな学校施設、特にトイレが汚い
- ・児童机が小さい
- ・廊下や昇降口が狭く混雑する
- ・子どもの荷物が多い。水筒ではなくウォーターサーバーを設置してほしい
- ・ボール遊びができるなどのびのび遊べる環境
- ・未就学児も遊べる環境があるとよい
- ・タブレットの授業は楽しいが、重くて持ち帰りが大変である。
- ・保護者連絡はタブレットではなく、所有しているスマホでよい
- ・給食が冷たいので、温かいまま食べたい
- ・地域開放は知らない人が入ってくるという怖さがある。セキュリティ強化が必要

### チーム 未来



**いつでも 誰でも  
行きたい 楽しい  
学校**

- ・開放的で明るい校舎がよい
- ・みんなの居場所になるような学校
- ・セキュリティ面や登下校が安全安心な環境
- ・開かれた教室で学びを楽しめる環境
- ・放課後の居場所や学童の活動場所としての充実
- ・地域のコミュニティセンターのような学校になると、地域交流ができる
- ・地域開放を行うことで避難所として有事の際に地域の人が入ってきたときでも運用がスムーズにできそう
- ・学校と保護者の対話、地域との対話を大切にすることやDX化等によって先生にとって働きやすい学校になるとよい

チーム清瀬

きれいな学校がいいな～♪

登校

- ・通学路の安全対策
- ・通学路に歩道がほしい
- ・朝の登校 みどりのおばさん

給食

- ・自校方式の給食
- ・清瀬産食材で給食を
- ・学校で給食をつくってほしい
- ・給食がつめたくなくなるときがある
- ・おたのしみ給食 6年生以外をえらびたい

タブレット

- ・保護者の連絡は学校のタブレットじゃなくてもいい
- ・タブレットで遊びたい
- ・タブレットを使う学習を増やしてほしい
- ・紙に書くのは大切
- ・タブレットはあまり持ち帰らない(荷物になるおきたい)
- ・タブレットおきたい
- ・荷物が重くならないようにしてほしい

地域

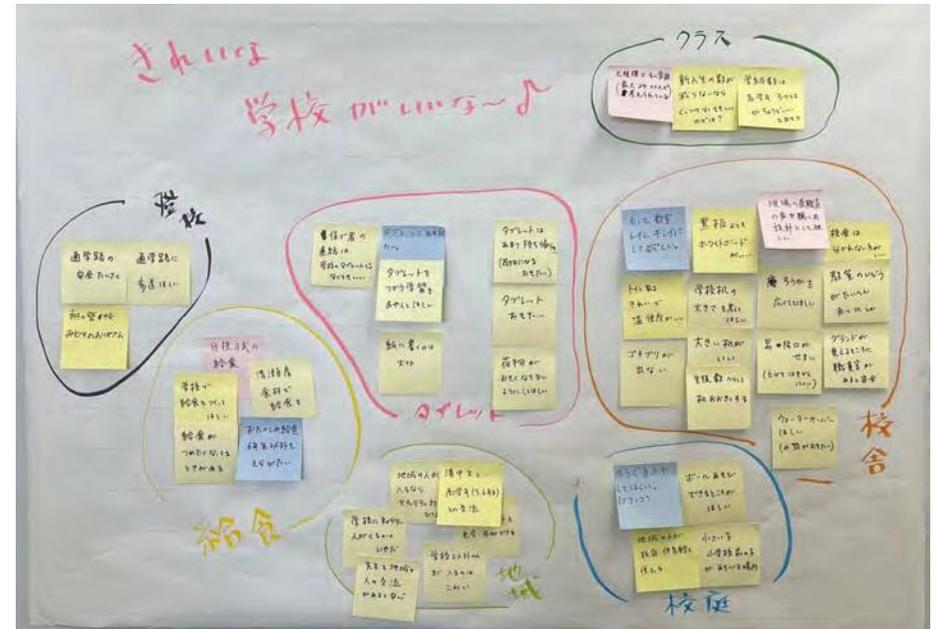
- ・地域の人が入るならセキュリティ対策必要
- ・学校に知らない人がくるのはいやだ
- ・先生と地域の人との交流があると安心
- ・学校以外の人が入るのはこわい
- ・清中生と高学年(56年生)との交流
- ・地域の人が学校のイベントを見学・参加できる
- クラス
- ・大規模でない学校(最大24クラスで考えられている)
- ・新入生の数が減らないならくっつけなくてもよいのでは?
- ・学級数は各学年3クラスがちょうどいいと思う

校舎

- ・もっと教室、トイレ、キレイにしてほしい
- ・トイレはきれいで温便座がいい
- ・黒板よりもホワイトボードがいい
- ・学校机の大きさを考えてほしい
- ・大きい机がいい
- ・生徒数減らして机おおきくする
- ・廊下を広くしてほしい
- ・昇降口がせまい(上はき はきかえにくい)
- ・ウォーターサーバーほしい(水筒がおきたい)
- ・校舎は分かれな方がいい
- ・教室の移動がたいへん 南と北とか
- ・グラウンドが見えるところに職員室があると安全
- ・ゴキブリが出ない
- ・現場の教職員の声を聴いた設計にしてほしい

校庭

- ・ゆうぐをふやしてほしい(ブランコ)
- ・ボール遊びできるところがほしい
- ・小さい子 小学校前の子があそべる場所



## チーム未来

いつでも誰でも行きたい楽しい学校

### 施設

- デジタル機能を充実 未来型の施設 DX化
- 開放的な（いつでも様子が見れる）オープンな教室
- 明るい（採光）施設
- きゆうくつでないゆとりあるスペース
- 安全管理がしやすい施設
- 子供達がのびのびと過ごせる教室
- 環境にやさしい施設
- 緑が多い
- 3Kを無くす（暗い、きたない、くさい） トイレ・廊下
- 地域の人が行きかう施設（複合化）

### 子どもたちの学び・生活の場

- 個性を生かす公教育の推進
- 安心安全
- 登下校の安全
- いきなり教室ではなく
- 全ての人に行動（活動しやすい）しやすい場所
- ひらかれた教室 学びを楽しめる
- 放課後の居場所
- ゆったりできる学童クラブ
- 数人で座れるベンチなどが廊下に
- 子供一人あたりの収納スペースを確保
- シアターがある（階段の活用）
- 大型のスクリーンがある（いろいろな箇所に、常に映像が流れて）
- 子供がタブレットを持ち歩き、大きなテーブルで学習などができる

### 地域住民にとって

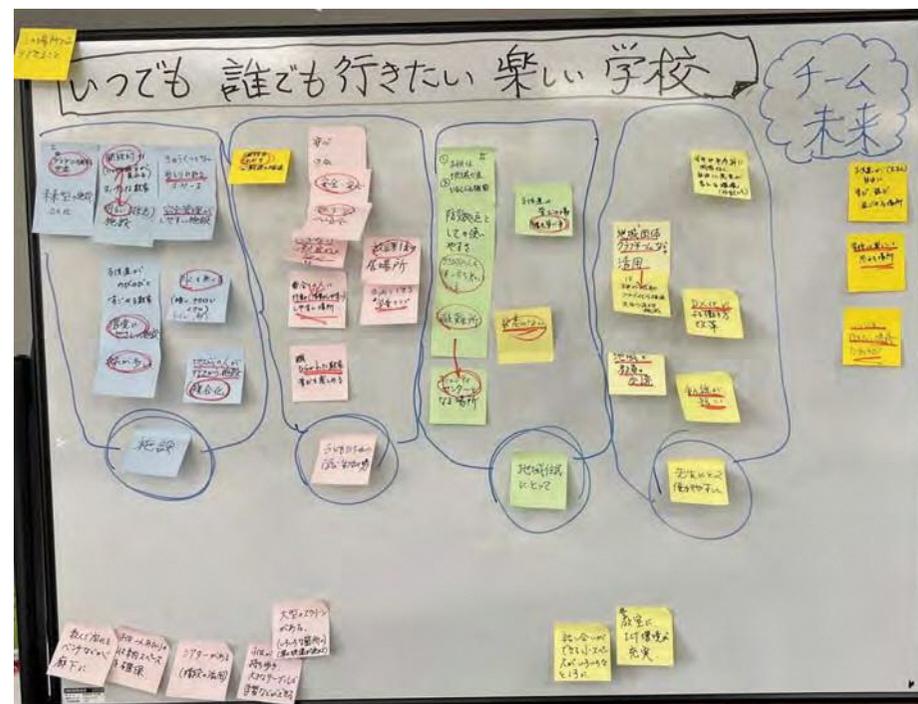
- 子供は地域の宝
- 避難所機能
- 防災拠点としての使いやすさ
- 地域の人も使い方を知っている避難所
- コミュニティセンターとなる場所
- 子供達の学びの場（情も学べる）
- 段差のない

### 先生にとって働きやすい

- 学年や年齢等に関係なく自由に意見が言える環境（市政にも）
- 地域団体、クラブチームなどの活用
- DX化による働き方改革
- 地域と教員の交流
- 動線が短い
- 各教室にICT環境が充実
- 話し合いができる小スペースがいろいろなところに

### この場所だからこそ

- 子供達が（先生も）自由に学び遊び過ごせる場所
- 学校は楽しいと思える場所
- いつでも誰もが行きたい場所



チームゆとり  
すべてにゆとりを

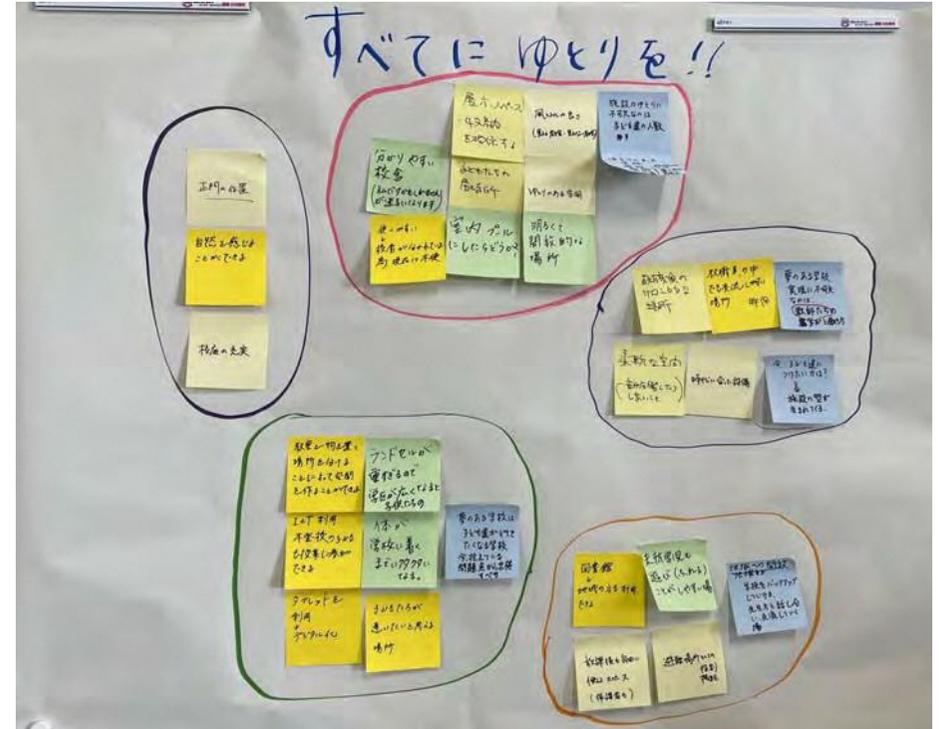
- ・正門の位置
- ・校庭の充実
- ・自然を感じることができる

- ・教室と物を置く場所を分けることによって空間を作ることができる
- ・ランドセルが重すぎるので学区が広がると子供たちの体が学校に着くまでクタクタになる
- ・ICT利用 不登校の子どもも授業に参加できる
- ・タブレットを利用→デジタル化
- ・子どもたちが通いたいと思える場所
- ・夢のある学校は子ども達が行きたくなる学校
- 今抱えている問題点から出発すべき

- ・分かりやすい校舎（私だけかもしれませんが迷子になります）
- ・使いやすい校舎が分かれている為、現在は不便
- ・展示スペース
- ・収納を確保する
- ・子どもたちの居場所
- ・室内プールにしたらどうか？
- ・風通しの良さ（見える教室・見えない教室）
- ・ゆとりのある空間
- ・明るくて開放的な場所
- ・施設のゆとりに不可欠なのは子ども達の人数
- ・ゆとりのある学校
- 施設 教師 子どもの人数
- 施設のみでは夢のある学校にならない

- ・教職員のサロンの場所
- ・教職員の中でも交流しやすい場所・時間
- ・柔軟な空間（音が反響したりしないこと）
- ・時代に合った設備
- ・夢のある学校 実現に不可欠なのは教師たちの学びと働き方
- ・今、子ども達につけたい力は？→施設の方が生まれてくる

- ・図書館→地域の方も利用できる
- ・未就学児も遊び（ふれる）ことがしやすい場
- ・放課後も自由に使えるスペース（保護者も）
- ・避難場所としての役割を
- ・地域への開放 学校をバックアップしていける先生方と話し合い、交流していく場



## チームハッチ

### 施設

- ・子供食堂
- ・木の図書室を残してほしい
- ・学年単位で集まれるようなフリーなスペース
- ・全天候型の校庭
- ・2階建ての体育館または屋上
- ・室内プール 一年中入る
- ・図書が充実していて住民も利用できる
- ・子供たちが環境問題を意識できる SDGs  
ソーラー発電 残飯の肥料化
- ・セキュリティを大切にしながら地域の方とつながりやすいオープンなスペースがあるといいと思います。
- ・まわりから気付かれないように入れるスクール  
カウンセラーがいる相談室の配置があったらいいと思います。
- ・特別支援学級の生徒と普通級の生徒と一緒に調理ができる広い家庭科室と調理しやすいキッチン  
スペースがほしいです
- ・バランスよく物品が備蓄されている防災倉庫が  
整備されているとよい

- ・こんな型の校舎だとみんなの事が見える



- ・ボルダリング(?)がかべにあるといい。
- ・他学年と関わるのがやりやすい教室配置
- ・放課後も遊べる学校
- ・じどうけんおんをはかってくれてるものをおく。
- ・エレベーターがあると車いすの方も学校に来れる
- ・和式トイレを残す
- ・下駄箱の大きさが小さいから、もっと大きくする。(長靴が入るくらい)
- ・黒板よりホワイトボードにする
- ・ウォーターサーバーがあったらいい。
- ・土日も遊べる

### 学びの場

- ・そうじも自分たちでやる!!
- ・子どもたちが自分たちで学校のルールを決める  
主体性を発揮できる学校
- ・先生が存分に授業で創意工夫を発揮できる学校  
→先生でなくてもできることは保護者や地域が  
やる

- ・たて割りの活動を増やす
- ・図書の電子化
- ・給食ではなく食堂はどうか?
- ・牛乳よりミルクコーヒーがいいです。
- ・いつまでも明るい学校

### 地域

- ・地域の人、特に高齢者も関われる学校
- ・地域の名産を共に育てることのできる土地 (に  
んじん、蜂)
- ・芸術にふれることができる 誰にでも作れる描  
ける物を経験することができる

- ・学校の校庭に畑を作る 地域の農家の方とのコ  
ミュニケーションをはかる
- ・畑クラブを作る。?
- ・学校内に地域住民が入ってこれるコーナーがあ  
る

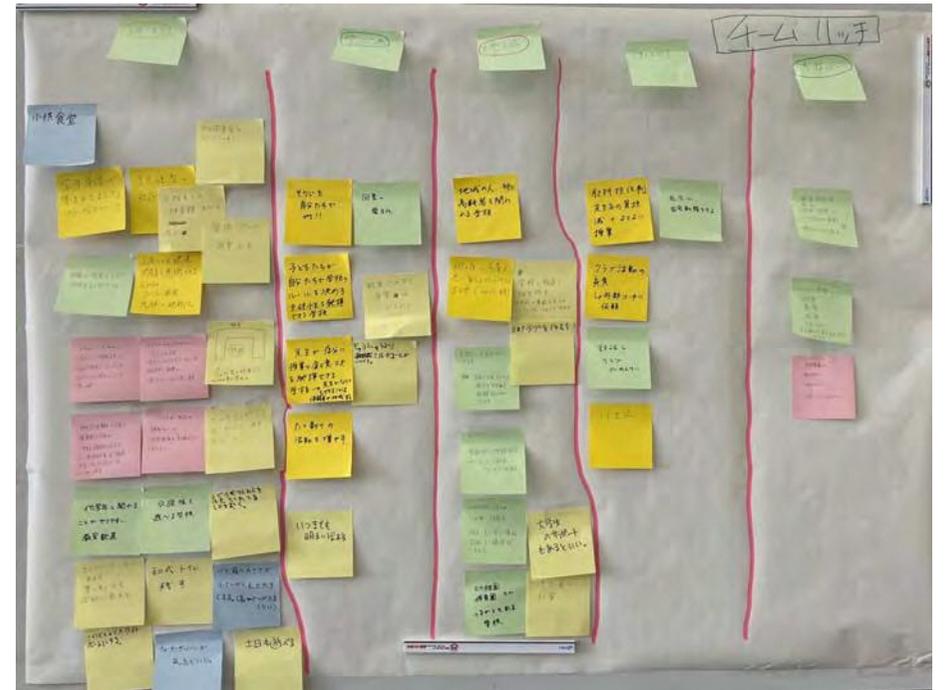
- ・地域住民の方々が趣味・特技を子ども大人共に  
楽しめる企画を提供してもらう
- ・大学生のサポートもあるといい。
- ・ハチが来ない対策
- ・幼稚園、保育園とのつながりもある学校

### 働きやすい

- ・教科担任制 先生方の負担減+よりよい授業
- ・先生が在宅勤務できる
- ・クラブ活動の充実→外部コーチに依頼
- ・部活とクラブの連携
- ・小中交流

### 清瀬ならではの

- ・資源再利用 木やはぎれ利用でこんなものがで  
きる等 再生について学べる
- ・子どもの食育 野菜、畜産、花木、くだもの 一  
年を通して学べるコーナーがある
- ・学校農園が敷地内にあるといい ビオトープも  
あるといい



## チーム自然

### ICT

- ・PC活用できる学校
- ・ICT環境が整っている
- ・どこでも通信（屋外含）
- ・WiFi環境

### 自然

- ・樹木、花草など自然豊かな環境
- ・校庭や畑の場所
- ・農園のある学校
- ・植物をたくさん育てられる学校

### 交流

- ・小中の先生の連携がしっかりしている
- ・学年単位で集まれる場所
- ・小→中へとまどいなく進学できる
- ・学校内での学年を超えた交流がある学校

### 広い校庭

- ・広い校庭
- ・遊具がたくさんある楽しい学校
- ・校庭遊び全員は難しい
- ・野球、サッカーなど様々なスポーツができる
- ・全員で遊べる広さ

### 地域

- ・地域の人も集まれる場所になると良い
- ・地域の人たちと交流がある

### バリアフリー

- ・バリアフリーできればエレベーターも
- ・バリアフリーエレベーター 玄関/昇降口の段

### 日あたり

- ・日あたりを考えた教室配置
- ・現在日あたり不十分

### セキュリティ

- ・校門を広くしてほしい
- ・歩道の確保
- ・昇降口がまともまっている
- ・安全な学校
- ・入口の広さ（門の数は少なく）
- ・セキュリティがしっかりしている
- ・北門狭いケン
- ・スムーズな教室移動 避難経路

### 施設について

- ・本は沢山
- ・芝生、タタミ、フローリング等 はだしで

- ・子供がのびのび
- ・明るい学校にしたい
- ・きれいな学校
- ・給食がおいしい
- ・音楽ホール
- ・四方が一望できる屋上
- ・広くて明るい教室と廊下
- ・児童用ロッカーをもっと広く
- ・十分な収納スペース

- ・職員室 空間のゆとり
- ・不登校のない学校
- ・体育館等 施設利用に融通がきく
- ・職員の楽しさ→子どもの楽しさ
- ・先生方の時間のゆとり
- ・先生の負担を減らす
- ・静寂が確保される教室
- ・授業時数へ配慮 空き時間大切

### 水まわり

- ・流しの高さは子どもの身長に合わせて
- ・水道がもっとたくさんある学校

### トイレ

- ・トイレの数を増やしてほしい
- ・1F 5クラス トイレ1が所数少なすぎる
- ・混んでいる
- ・トイレは憩いの場に 自動水栓



「新しい学校施設づくりの目標」

グループワークの進め方

第2回策定委員会では、委員の皆さんに2グループに分かれて新しい学校施設づくりの目標についてご議論いただきたいと思います。教職員アンケートや市民ワークショップの結果を踏まえて、「学び・生活・地域・安全・環境・(その他)」の5つの視点を通して、新しい学校施設はどのような施設を目指していくか、そのあり方について意見交換ください。最後にグループごとに発表し全体で共有できればと思います。その結果を踏まえて第3回策定委員会において目標のたたき台を事務局で用意します。

基本計画は目標を実現するために、具体的な施設の考え方に落とし込んでいく作業となります。

40分程度の時間を設定し、①個人推考(10分) ②グループ内で共有・省察・まとめ(20分) ③全体発表・意見交換(10分)の流れで進めていただければと思います。

メモ用

学び …一人一人の学び、学び合い、学び方、ICTの活用、子ども達の多様性、先生方の学び、 等々

生活 …ゆとり、過ごしやすさ、落ち着ける環境、リフレッシュ、木材利用、食育、 等々

地域 …地域と学校のつながり、開かれた学校、地域の拠点・地域利用、地域の支え、 等々

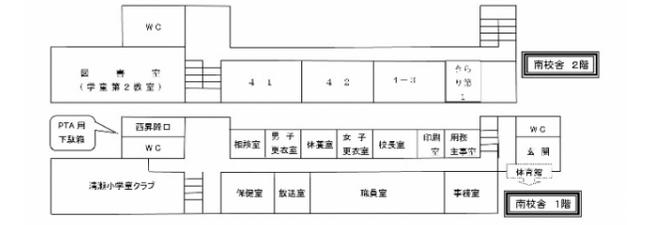
安全 …学校の防犯、施設の安全、災害対策、地域の安全・安心、バリアフリー、 等々

環境 …地球環境配慮、維持管理、周辺環境の改善、緑化、環境教育、郷土教育、 等々

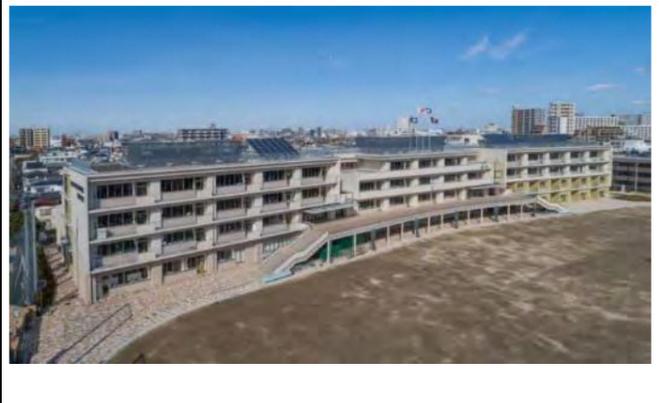
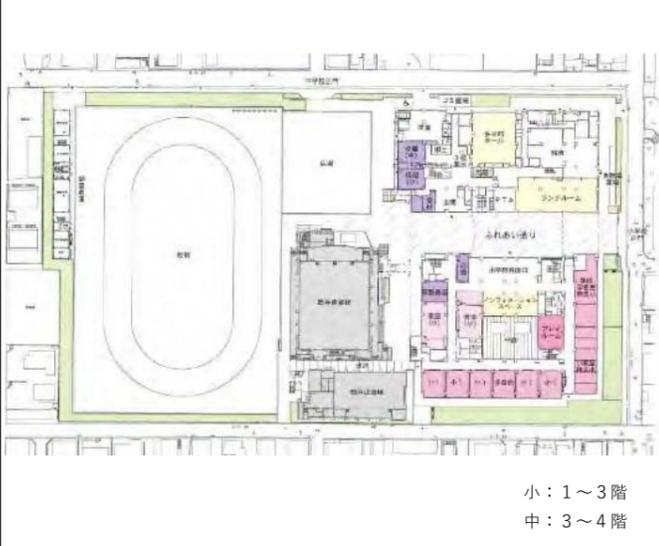
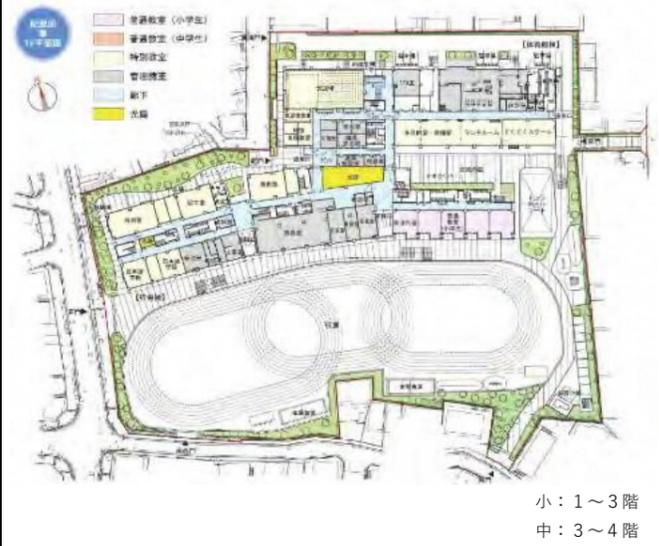
その他の視点 ( )

学校名	和光市立下新倉小学校	志木市立志木小学校	立川市立立川第一小学校	立川市立若葉台小学校
特色	複合化、まちづくりの核、教室まわりの充実	複合化、学社融合、教室まわりの充実	複合化、特色ある教室構成	教室まわりの充実、コンパクトな構成
写真				
配置図 または 平面図				
建設年月	平成28年3月	平成15年3月	平成27年8月	令和3年2月
児童数 学級数	<ul style="list-style-type: none"> <li>学級数22 (特別支援学級含む)</li> <li>児童数563名 (特別支援学級含む)</li> </ul> (令和4年4月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>学級数30 (特別支援学級含む)</li> <li>児童数836名 (特別支援学級含む)</li> </ul> (令和3年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>学級数15</li> <li>児童数513名 (特別支援学級含む)</li> </ul> (令和4年4月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>学級数18 (特別支援学級3)</li> <li>児童数511名 (特別支援学級19名)</li> </ul> (令和4年4月)
規模等	普通教室数：24室 敷地面積：13,155.37㎡ 建築面積：5,276.34㎡ 延床面積：8,942.74㎡ 構造規模：RC造・S造・SRC造 地上3階建	普通教室数：24室 敷地面積：12,071.74㎡ 建築面積：4,441.67㎡ 延床面積：13,345.44㎡ 構造規模：RC造・S造・SRC造 地上4階建 地下2階	普通教室数：20室 ※面積( )内は別敷地の複合施設面積を示す 敷地面積：9,659.06㎡ (2,006.17㎡) 建築面積：3,561.57㎡ (1,227.26㎡) 延床面積：8,711.49㎡ (3,214.51㎡) 構造規模：RC造・S造・SRC造、 地上3階建 地下1階	普通教室数：20室 敷地面積：15,978㎡ 建築面積：4,382㎡ 延床面積：10,739㎡ 構造規模：RC造・S造・SRC造、 地上4階建
備考	複合施設：市立図書館分館、児童館、学童保育	複合施設：市立図書館、公民館	複合施設：市立図書館分館、公民館、学童保育施設	複合施設：学童保育施設

参考事例リスト 2

学校名	府中市立第八小学校	豊島区立目白小学校	武蔵の市立大野田小学校	清瀬市立清瀬小学校（参考データ）
特色	学習空間として整った教室	コンパクトな構成、屋上の有効利用	発達段階の配慮した教室、コンパクトな構成	
写真				
配置図 または 平面図				
建設年月	令和5年3月	平成26年10月	平成17年3月	—
児童数 学級数		・学級数19 ・児童数595名 (令和4年5月)	・学級数25 特別支援学級数4 ・児童数823名(特別支援学級含む) (令和4年4月)	・学級数20 特別支援学級7 ・児童数685名 (令和4年5月)
規模等		普通教室数：24室 敷地面積：8,351.25㎡ 建築面積：3,597.34㎡ 延床面積：8,017.11㎡ 構造規模：RC造、地上4階建	普通教室数：24室 敷地面積：15,051.77㎡ 建築面積：4,795.76㎡ 延床面積：13,508.07㎡ 構造規模：RC造・S造・SRC造、 地上5階建 地下1階	普通教室数：27室 敷地面積：12,447.92㎡ (道路拡幅面積を除いた敷地面積) 建築面積：—㎡ 延床面積：5,939㎡ 構造規模：RC造、地上3階建
備考		複合施設：子どもスキップ(学童保育)	複合施設：学童保育、教育支援センター	複合施設：学童保育

参考事例リスト 3

学校名	杉並区立新和泉小学校・和泉中学校 (杉並和泉学園)	川崎市立子母口(しばくち)小学校 ・東橋中学校	豊島区立池袋本町小学校・池袋中学校	江戸川区立葛西小学校・葛西中学校
特色	小中一貫校、施設一体型(改築+改修)	小中連携校、施設一体型	小中連携校、施設一体型	小中連携校、施設一体型
写真				
配置図 または 平面図	 <p>校庭</p> <p>小: 改築棟 中: 改修棟</p>	 <p>小: 1~3階 中: 3~4階</p>	 <p>1F 小学校エリア 中学校エリア</p>	 <p>小: 1~3階 中: 3~4階</p>
建設年度	平成27(2015)年度	平成28(2016)年度	平成28(2016)年度	平成31(2019)年度
児童数 学級数	( )内は特別支援学級 ・学級数 小26(内3)、中8(内3) ・児童数840名(内22)、生徒数239名(内22) (令和4年12月)	( )内は特別支援学級 ・学級数 小41(内7)、中30(内6) ・児童数1161名(内41)、生徒数947名(内41) (令和4年5月)	・学級数 小24 中9 ・児童数804名、生徒数313名 (令和4年4月)	・学級数 小26(ほか日本語学級2) 中15(ほか日本語学級2) ・児童数842名、生徒数511名 (令和4年5月)
規模等	普通教室数: 22室(小学校) 11室(中学校) 敷地面積: 17,897.65㎡ 建築面積: 7,201.19㎡ 延床面積: 15,209.10㎡ 構造規模: RC造、地上4階建	普通教室数: 36室(小学校) 27室(中学校) 敷地面積: 23,575.55㎡ 建築面積: 6,836.33㎡ 延床面積: 22,096.85㎡ 構造規模: RC造・S造、地上5階建	普通教室数: 23室(小学校) 15室(中学校) 敷地面積: 12,349.71㎡(中学校校庭は別敷地) 建築面積: 6,810.08㎡ 延床面積: 17,271.41㎡ 構造規模: RC造・SRC造、地上4階建	普通教室数: 28室(小学校) 18室(中学校) 敷地面積: 19,660.91㎡(中学校校庭は別敷地) 建築面積: 7,039.79㎡ 延床面積: 16,813.84㎡ 構造規模: RC造・S造、地上4階建
備考	・既存中学校を全面改修し、小学校の新築部分と接続した施設一体型の小中一貫教育校	・施設一体型の小中連携校 ・中学校区には久末小も含まれる。2小1中の小中連携教育に取り組んでいる。	・小学校2校が統合し、近接する中学校と1敷地に施設一体型校舎を整備。 ・中学校区にはもう池袋第一小がある。2小1中の連携校。	・中学校区は葛西小のほかに2つの小学校が含まれる。3小1中の小中連携教育に取り組んでいる。

# 特別講演会

## 清瀬の未来を拓く学校づくりを開催しました



12月17日（土）、令和11年度の新校開設に向けた取り組みの一環として、東洋大学の長澤 悟名誉教授をお招きし、特別講演会を開催しました。

当日は、全国各地の先進事例やご自身の研究や実践を基に、清瀬市の未来に向けた学校づくりについてお話しいただきました。

### 【YouTubeで公開しています】

講演会の様子をYouTubeにアップロードしました。  
下記リンクまたはQRコードによりアクセスできます。  
是非ご視聴ください。

URL:

<https://youtu.be/tMfak7CYfmw>



### 【お問い合わせ先】

清瀬市教育委員会 教育総務課庶務係

042-497-2537（直通）

# 清瀬市の新しい学校施設づくりワークショップ 開催のお知らせ

## 第2回 テーマ「学びの場/生活の場としての学校施設」

- 日時 令和5年3月25日（土）10時スタート 正午終了
- 会場 市役所4階 研修室1・2・3
- 参加申込方法 URLもしくはQRコードよりお申込み下さい。  
URL を記載 <https://logoform.jp/form/QzsJ/212941>
- 申込期限 令和5年3月16日（木）15時まで
- 定員 25名程度 参加費 無料
- ※1 完全事前申込制とします。  
※2 応募者多数の場合は、保護者や地域住民を優先させていただきます。  
結果は当日1週間前を目途にメールでご連絡します。



お申し込みはこちら

### 当日の流れ

- I. 前回ワークショップの内容共有・振り返り
- II. ミニレクチャー「（仮称）これからの教育活動を支える施設環境」
- III. グループワーク（ワールドカフェ）
  - ①グループ内で自己紹介
  - ②意見抽出・話し合い・グループ入れ替え
  - ③元のグループに戻ってまとめ
  - ④発表・全体意見交換
  - ⑤講評
- IV. 総括・次回案内等

### 今後の予告

「清瀬市の新しい学校施設づくりワークショップ」は、基本構想・基本計画の検討期間中に継続的に開催します。テーマは「**地域のための学校施設**」「**施設の機能と配置**」「**平面構成等**」を予定しています。※テーマはワークショップで出た意見等を踏まえて変わる可能性があります。

- ※ 新型コロナウイルス感染症対策のため、マスクの着用と入場時の検温及び手指消毒をお願い致します。
- ※ 当日体調が思わしくない場合または体温が37.5℃以上の場合には参加をお控え下さい。

【ワークショップに関する問い合わせ先】  
清瀬市教育委員会事務局 教育総務課庶務係  
【TEL】042-497-2537

